

**第2回 意見交換会 議事録**  
**「中米・カリブ地域（広域）フードバリューチェーン強化・農業  
ファイナンスに係る情報収集・確認調査」**

日時：2022年12月21日 11:00-12:00 JST

場所：オンライン開催

主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）

参加者：約 30 名

---

参加者との意見交換に先立ち、株式会社三祐コンサルタンツ（本調査業務主任） 蛭田英明氏より現地調査結果と想定される開発シナリオについて発表を行った（プレゼンスライドは本案件ウェブページに掲載<sup>1</sup>）。主なコメント内容と蛭田総括による回答を下記にまとめる。（※主催文責による書き取りにより作成）

**参加者からのコメントと蛭田総括からの回答**

**コメント1：**

有償資金協力を実施する際に投資効果はどれくらいあるのか把握すべき。また投資モデルの作成や、民間の参画を促すことも必須である。次回の渡航で先方政府と認識を共有するのが良い。また食料安全保障の観点からも、肥料等の前方産業への支援も大切である。

**回答1：**

おっしゃる通り、投資効果の把握は極めて重要であると考えている。ドミニカ共和国の灌漑リハビリ案件では、IDB がいくつかの灌漑地区の投資効果に係る FS を行う予定なので、今後 JICA と IDB の連携が期待される。パナマの Food Hub の計画でも、例えばパナマ運河の北米側、南米側どちらに建設するかによって投資効果が異なるという指摘もある。コロナ禍において物流の停滞が生じたが、パナマにおける保管庫の建設がそうした際にバッファーとして機能することも期待できる。

**コメント2：**

民間（精米業者等）の支援は大切だが、政府の関わりに関する話が少ない印象を受けた。また、農家への普及事業は欠かせず、公的な普及の効率化や研修の受け皿になる農家の組織化、参加型プラットフォームの形成が必要。ICT（e-commerce や e-extension）による情報の集約・効率化を図れるとよい。研究開発に係る内容も少なかったが、ブランド化を進めることが競争力を高める上で重要であり、研究開発による知見からブランド化を高められるとよい。

**回答2：**

政府に関わる内容は時間の都合上、割愛させていただいた。研究開発に関しては、ドミニカ共和国ではイネの研究所が現地の栽培体系に合わせた研究を行っている。当地ではひこばえ栽培や直播が盛んで雑草害が問題であるが、これに対して除草剤耐性が高い（選択性が高い）品種の研究を進めている。コーヒーでは、カリブ地域のコーヒーのみ脳の  $\alpha$  波に好影響があるという研究がある<sup>2</sup>。グアテマラは8産地ごとに特徴的なコーヒーを算出しており、こうしたことをブランド化につなげていくことが FVC

---

<sup>1</sup> [https://www.jica.go.jp/regions/america/plaza/food\\_value\\_chain.html](https://www.jica.go.jp/regions/america/plaza/food_value_chain.html)

<sup>2</sup> <https://coffee.ajca.or.jp/webmagazine/health/health69-2/>

の開発に繋がるのではないかと考える。ICT に関して、商流と物流の両方を考える必要がある。例えば、ドミニカ共和国で伝統的な市場での food loss が問題になっており、施設の改修と合わせて e-commerce の導入等を進めていくのが良いと考える。

**コメント3：**

コメの内容について、パナマ、ドミニカでは関税撤廃による米国からの輸入米が国産米の脅威とのことだが、関税撤廃による価格の競合はどのような状況か？また、それぞれの国の灌漑水利組合の現状を教えてください。施設の維持管理上、水利組合の強化は重要かと思う。

**回答3：**

輸入米の関税は下がってきており、現時点でドミニカ共和国では「イーブン」の状態と言われている。今後のことを考えると、灌漑施設の改修とそれによる水管理の効率化、農業機械化などにより国内産米の生産コストを下げるのが大切である。パナマは minimum access 米が入っており輸入米の食味の方が評価が高いことから、精白米の輸入を禁止しており、粳で輸入することとなった。そうすると現地の精米機や保存の問題で味が落ちると評判が悪い。ドミニカ共和国では過去の JICA による技プロによる支援もあり、水利組合が形成され水利費も払っている。2 次水路以降は組合の管轄で、幹線水路は政府の管轄だが、むしろ幹線水路の維持管理（浚渫など）があまり機能していないとの指摘もある。

**コメント4：**

各国の国内輸送能力はどのような状態か？ドミニカ共和国の水産やグアテマラのコーヒー（果肉未除去）等、ある程度鮮度が重要になってくるかと思うが、それに耐えうる輸送能力があるうえでの開発シナリオを検討されているということか？

**回答4：**

幹線道路は概ね整備されつつあり、グアテマラでは日本の支援で道路建設も進んでいるものの、地域内の短距離移動（ファーストマイル）に課題があるように感じた。それでも例えばブロッコリーは一日で生産地から首都まで輸送できるとのことで大きな問題にはなっていない。

**コメント5：**

パナマでは精米所の立地が悪く課題（輸送に時間がかかる？）があるとのことだが、米の乾燥は精米所でのみ行われているのか？収穫後数日以内に乾燥させないとカビが生える可能性があるため、FVC 上重要。各農家が天日干しで乾燥させてから精米所へ持って行く？

**回答5：**

精米所で大規模に乾燥させるのが主流。精米所では、現在も粳穀乾燥機を用いており、今後、粳穀で一度蒸気発電させるタイプの需要もある。

**コメント6：**

中米、カリブ地域での最重要課題である、国際競争力の有る商品開発とそれに伴う現地での人材育成の為に、地元の優良企業とのアライアンスが不可欠と認識している。例えば、ブロイラー、食肉、食パン、飲料、食品全般等において、中米、南米で活動しているメキシコの食品企業が複数挙げられる。

以上